

サステナビリティ活動の目標と結果

2023年度の目標と結果

★★★目標達成 ★★目標一部達成 ★目標未達成

ESG	活動組織	2023年度の目標	結果	評価
環境	環境安全管理委員会	1. 環境パフォーマンス(CO ₂ 、水資源、廃棄物、化学物質)の継続的な改善の推進 <ul style="list-style-type: none"> ● 第四期中期削減計画達成に向けた取り組みの強化 ● 環境データの解析による予防対策の推進 ● 2030年度までに温室効果ガス排出量2013年度比46%削減、2050年度までにカーボンニュートラル達成に向けた活動の推進 ● 有害化学物質(PRTR対象物質)の削減(使用量削減、原単位対前年度比改善、代替物質への切替など)に向けた取り組みの推進 ● 環境保全活動を向上させるための教育等の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ● CO₂、水資源、廃棄物のいずれも2023年度の削減目標を達成。 ● 環境パフォーマンスデータの集計範囲を連結ベース全社へ拡大。 ● 環境・安全推進会議(環境担当者会議)において、目標達成に向けた討議を行い、今後の方針を決定。 ● 太陽光発電設備の導入、フォークリフトの電動化、省エネルギー性能の高い生産設備・機器類の導入、最適な生産工程の構築等の省エネルギー対策の導入の推進に向けた活動を実施。 ● 有害化学物質の取扱量は前年度より削減達成。 ● ISO14001の中で環境保全教育を継続的に実施。 	★★★★
		2. 無事故・無災害に向けた取り組みの強化 <p>※継続的な強度率0.03以下の状態を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 無事故・無災害達成に向けた活動の推進(特に経験年数の浅い者、高齢者を対象として) ● 不安全な状態・行動の撲滅に向けた安全活動の強化 ● 当社グループ各社の業務形態を踏まえた危険感受性向上を図るための教育・指導の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ● 事故災害が減っていない状況の中、重大事故が発生し、強度率は1.58と目標を大幅に未達。 ● 経験年数の浅い者や高齢者の事故防止について教育訓練を実施。 ● リスクアセスメントおよび管理監督者に対する安全管理活動の強化に向けた方針の徹底、教育を実施。 ● 環境・安全監査や環境・安全推進会議などを通じて当社グループ各社の業務形態を踏まえた情報共有、教育を実施。 	★
		3. 生物多様性保全活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> ● 事業活動が生態系に与える影響をより少なくするための改善の推進 ● 工場敷地緑化を含む社有地・鉱山跡地における継続的な緑化活動・山林管理などによる環境保全および生態系再生活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ● 生態系に影響を与える環境データの監視を継続。 ● 「足尾さくら植樹会」、「古河の森植樹会」を開催。 ● 継続的な社有林管理のため、地元の森林組合と今後の立木の伐採・新植に向けた施業計画を策定。 ● 旧久根鉱山跡地、足尾銅山跡地におけるホテルの再生活動を継続。 ● 社有地における生態系再生活動を継続。 ● 足尾地区における自然共生サイトへの認定(30by30アライアンスを含む)に向けて活動を開始。 	★★★★
		休廃止鉱山 <ol style="list-style-type: none"> 1. 知識・技能伝承などによる現場力向上の推進 2. 坑廃水処理施設の維持管理 3. たい積場・坑内の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ● 知識・技能向上に向けた社員教育を実施。 ● 足尾鉱山および久根鉱山において豪雨災害時の坑廃水処理施設のレジリエンス強化を図るための各種工事を実施。 ● 危険作業の洗い出しを実施し、安全操業を継続。 	★★★★
社会	品質保証委員会	1. 品質に対する認識向上活動の強化(全社)	● 全役職員向け品質教育資料を全4回配信	★★★★
		2. クレーム件数・費用の削減(機械系事業会社)	● 削減目標を達成するも、更なる削減が必要	★★★
		3. 品質保証体制の確立と継続的改善【品質ロードマップに沿った活動の実施】(機械系事業会社)	● 品質ロードマップに沿った活動をほぼ計画どおりに進捗	★★★
		4. 品質保証体制の強化【既存手法の見直し、新手法の活用検討】(素材系事業会社)	● FMEAの活用を推進(講習会の実施、書式の見直しなど)	★★★★

★★★★目標達成 ★★目標一部達成 ★目標未達成

ESG	活動組織	2023年度の目標	結果	評価
社会	人事総務部	1. 人材育成・確保 ● タレントマネジメントの導入 ● カテゴリ別教育方針の確立 ● ジョブローテーションの活性化 ● 専門職群若手社員向研修検討	● タレントマネジメントシステムを導入 ● カテゴリ別教育方針のカテゴリの大枠まで決定 ● ジョブローテーションの選定基準、実施検討完了 ● 専門職群若手社員向研修の実施検討完了	★★★
		2. 社内環境整備 ● 年間総実労働時間の削減(2,000時間未満) ● 健康経営優良法人ホワイト500認定に向けた取り組みの実施 ● 管理共通業務の集中化	● 年間総実労働時間1935.4時間 ● 健康アプリ導入、健康セミナー実施、有所見者への再検査推進 ● 借上げ社宅管理業務の共通化	★★★
		3. ダイバーシティの推進 ● 女性管理職比率の向上 ● 外国籍社員の雇用への積極的な取り組み ● 障がい者雇用の強化	● 女性管理職比率(連結):3.7% ● 外国籍社員採用(古河機械金属(株)籍):1名 ● 障がい者雇用率(連結):2.2%	★★★
	資材部	1. 他事業所の主要取引先向け第2回 CSR アンケートのグループ2 [*] フォローアップ	訪問フォローアップ実施済	★★★★
		2. 主要取引先のマネジメント(QCD+サステナビリティ)強化	評価票作成によるサプライヤ評価実施済	★★★★
		3. 取引先とのパートナーシップの醸成	生産説明会・訪問技術指導の実施済	★★★★
		4. 全社的なサステナビリティを意識した調達推進活動の開始	全資材部門へのサステナビリティ教育実施済	★★★★
企業統治	リスクマネジメント委員会	1. リスク一覧表を運用した全社的リスクマネジメントの実践	リスク分析を実施し、影響度が大きいリスクについて取締役会に答申	★★★★
		2. 環境リスク部会における環境リスクの審議および委員会への答申	気候変動リスクについて審議し、リスクマネジメント委員会へ答申	★★★★
		3. 人権リスク部会における人権リスクの審議および委員会への答申	人権リスクについて審議し、リスクマネジメント委員会へ答申	★★★
		4. グループBCP部会におけるBCP・マニュアルの整備および委員会への答申	BCPの見直しを実施し、リスクマネジメント委員会へ答申	★★★★
		5. 情報セキュリティ部会における体制整備および委員会への答申	インシデント対応マニュアルを策定し、体制を整備	★★★★
	コンプライアンス委員会	1. 独占禁止法マニュアル等の改訂	独禁法マニュアルを改訂	★★★★
		2. コンプライアンス違反事例の情報共有促進	社内ポータルサイトを用いた情報共有の仕組みを構築し、運用を開始	★★★★
		3. コンプライアンス研修の拡充	対面方式の研修を8回実施。動画方式の研修については、実施方法を検討中	★★★
4. 個人情報保護方針の改訂		個人情報保護方針と個人情報取扱基本ガイドラインを改訂	★★★★	

*グループ2:古河ケミカルズ(株)、古河C&F(株)、足尾さく岩機(株)、FRDいわき(株)

2024年度の目標

ESG	活動組織	2024年度の目標
環境	環境安全管理委員会	1. 無事故・無災害に向けた取り組みの強化 <ul style="list-style-type: none"> ● 「ゼロ災」に向けた活動の強化 <ul style="list-style-type: none"> ① トップ・安全管理者自ら現場巡視を行い是正・指導する ● 不安全な状態・行動の撲滅に向けた安全活動の強化 <ul style="list-style-type: none"> ① 作業手順書の整備、教育および理解度確認の徹底 ② 規則遵守の徹底および5S活動の推進 ● 古河機械金属グループ各社の業務形態を踏まえた危険感受性向上を図るための教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> ① 危険予知訓練(KYT)の強化 ② リスクアセスメント実施の徹底
		2. 環境パフォーマンス(CO ₂ 、水資源、廃棄物、化学物質)の継続的な改善の推進 <ul style="list-style-type: none"> ● 第四期中期削減計画達成に向けた取り組みの強化 ● 環境データの解析による予防対策の推進 ● カーボンニュートラル達成に向けた活動の推進 ● 有害化学物質(PRTR対象物質)の削減(使用量削減、原単位対前年度比改善、代替物質への切替など)に向けた取り組みの推進 ● 環境保全活動を向上させるための教育の推進
		3. 生物多様性保全活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> ● 事業活動が生態系に与える影響をより少なくするための改善を推進 ● 社有地・鉱山跡地における継続的な緑化活動・山林管理などによる環境保全および生態系再生活動の推進
	休廃止鉱山	1. 知識・技能伝承などによる現場力向上の推進 2. 坑廃水処理施設のレジリエンス強化 3. たい積場・坑内の予防工事の推進
社会	品質保証委員会	1. 品質に対する認識向上活動の強化(全社)
		2. クレーム件数・費用の削減(機械系事業会社)
		3. 品質保証体制の確立と継続的改善【品質ロードマップに沿った活動の実施】(機械系事業会社)
		4. 品質保証体制の強化【既存手法の見直し、新手法の活用検討】(素材系事業会社)
	人事総務部	1. 人材育成・確保 <ul style="list-style-type: none"> ● タレントマネジメントの導入 ● カテゴリ別教育方針の確立 ● ジョブローテーションの活性化 ● 専門職群若手社員向け研修実施
		2. 社内環境整備 <ul style="list-style-type: none"> ● 年間総実労働時間の削減(2,000時間未満) ● 健康経営優良法人ホワイト500認定に向けた取り組みの実施 ● 管理共通業務の集中化
		3. ダイバーシティの推進 <ul style="list-style-type: none"> ● 女性管理職比率の向上 ● 障がい者雇用の強化
	資材部	1. 海外サプライヤへのCSRアンケート実施
2. 主要取引先のマネジメント(QCD+サステナビリティ)強化		
3. 取引先とのパートナーシップの醸成		
4. 全社的なサステナビリティを意識した調達推進活動の開始		
企業統治	リスクマネジメント委員会	1. リスク一覧表を運用した全社的リスクマネジメントの実践
		2. 環境リスク部会における環境リスクの審議および委員会への答申
		3. 人権リスク部会における人権リスクの審議および委員会への答申
		4. グループBCP部会におけるBCP・マニュアルの整備および委員会への答申
		5. 情報セキュリティ部会における体制整備および委員会への答申
	コンプライアンス委員会	1. 独禁法マニュアル等の拡充
		2. コンプライアンス研修の拡充
		3. コンプライアンス意識調査の実施
4. 内部通報制度の名称変更および周知策の検討・実施		